

2014 年 11 月 04 日

## 世界の子ども日本語ネットワーク推進事業 第 6 回「日本児童海外体験プログラム」 第 6 回「海外児童日本体験プログラム」 日本参加校決定

博報財団(公益財団法人 博報児童教育振興会)は、第 6 回「日本児童海外体験プログラム」、ならびに第 6 回「海外児童日本体験プログラム」に参加する日本校の決定について、本日、文部科学省 文部科学記者会にて発表しましたので、ここにご報告いたします。

➤ 有識者で構成された審査会において、厳正なる審査の結果、次の 2 校が本事業の参加校として選出されました。

日本参加校： 荒川区立原中学校 (東京都)  
横浜市立青葉台中学校 (神奈川県)

### ■ 当事業の目的

日本語を大切にしながら異文化体験や国際交流を通じて、日本の生徒と海外の生徒がお互いの理解を深め、国際人として成長する機会を提供することを目的としています。

### ■ プログラム概要

「日本児童海外体験プログラム」は、日本の中学生を海外に招待し、海外校の訪問や同世代の生徒との日本語での交流、訪問国の文化・社会体験などを行います。

「海外児童日本体験プログラム」は、海外の中等教育機関(日本の中学校に相当)で日本語を学ぶ児童・生徒を日本に招待し、日本校の訪問や同世代の生徒との交流、日本の文化・社会体験などを行います。

### ■ スケジュール

「日本児童海外体験プログラム」 実施： 2015 年 7 月 21 日～7 月 31 日(予定)

「海外児童日本体験プログラム」 実施： 2015 年 4 月 17 日～4 月 30 日(予定)

事業およびプログラムの内容につきましては、財団ホームページをご覧ください。

この事業は、国際交流基金、国際日本語普及協会、呉鳳科技大学、スリランカ日本語教師会、土日基金文化センター、モンゴル・日本人材開発センター、ルーマニア日本語教師会などの協力によって実施されています。

博報財団(正式名称:公益財団法人博報児童教育振興会)は、1970年に設立された財団法人博報児童教育振興会を母体として公益認定され、2011年4月に公益財団法人としてスタートしました。  
次代を担う子どもたちの豊かな人間性の育成のために、児童教育の実践者を顕彰する「博報賞」をはじめ、「児童教育実践についての研究助成」「国際日本研究フェロウシップ」「世界の子ども日本語ネットワーク推進」など、「ことば」「文化」の領域を中心に児童教育の支援につながる活動を行なっています。

◇ 公式ホームページ <http://www.hakuhodo.co.jp/foundation/> ◇

### ■ 本件に関するお問い合わせ先:

世界の子ども日本語ネットワーク推進事業(担当: 内海・川島・横山)

TEL. 03-5570-5008 / FAX. 03-5570-5016

E-mail. office@hgnet.jp